

テーマ：熊本市の子育てしやすいところ、こども・子育て支援で満足していることや改善してもらいたいこと

No.	ご意見	回答 ※【課名】が記載されているものについては、意見交換後に市の考え方を示したものです。	局	担当課
1	男性向けの子育てイベントが少ないので、イベントを充実させてほしい。また、男性が参加しやすい工夫があればありがたい。	【こども政策課】 今後、本市が実施する子育てイベントについては、男性向けのイベントや男性が参加しやすい工夫について検討していく。	こども局	こども政策課
2	熊本市結婚・子育て応援サイトに古い情報が残っていることがあるので、情報更新を着実にやってほしい。	【こども政策課】 定期的に掲載情報を確認し、最新の情報に更新することを心掛け、より良いサイト運営に努める。	こども局	こども政策課
3	介護など、人手不足で育休を取得しづらい業界も多い。例えば、育休を取得した職員をフォローする人にボーナスを支給するなど、育休を取得しやすい仕組みづくりがあればよいと思う。	【こども政策課】 育児休業を取得しやすい環境づくりは非常に重要であり、本市では、子育てと仕事の両立ができる働きやすい職場環境の整備を進める企業を「子育て支援優良企業」として認定し、その取組事例を広く周知することで、他企業への横展開を図っている。今後も同制度を通じた普及・啓発に取り組んでいく。	こども局	こども政策課
4	私は難産であったため、妊婦検診の所定回数を超えてしまった。そのような方への更なる支援も検討していただけたらありがたい。	【こども支援課】 妊婦一般健康診査については妊娠届け出時の妊娠週数に応じて14回、一般健康診査の結果、妊娠出産に直接支障を及ぼす疾病の疑いがある妊婦に対して、妊婦精密健康診査の助成を1回行っている。 ご意見いただいたように、諸事情で検査の回数が増えた際の助成については、今後国の施策などを見ながら検討していく。	こども局	こども支援課
5	熊本市はこうのとりのゆりかごがある中で里親が少ないので、里親へのサポート体制を充実させるべきだと考える。	【児童相談所】 熊本市フォostering機関と連携して、里親に対する研修や里親家庭への訪問による悩み・困りごと に対する相談支援、委託後の育児支援を行っている。 引き続き、里親へのサポート体制の充実を図っていく。	こども局	児童相談所
6	・給食費を無償にしてほしい。 ・給食費はいつ頃無料になるのか？	【健康教育課】 学校給食費の無償化については、自治体の規模や財政力による地域間格差なく子育て世帯への支援が行われるよう、本市からも国に対し恒久的な財政支援について早期実現の要望を行っている。 また、学校給食費の負担軽減は、子育て世帯への支援策として非常に重要であると考えており、今後、具体策について検討していく。	教育委員会	健康教育課
7	こども文化会館のおむつ替えスペースや授乳室が古く使い勝手がよくないため、リニューアルしていただけたらありがたい。	【こども支援課】 大規模な改修工事は難しいが、可能な限り利益性や快適性の向上、プライバシーの保護が図られるように、古くなっているおむつ替え台やベビーベッド、また授乳室入り口のカーテン仕切りや室内の衝立などの備品の交換に計画的に取り組んでいく。	こども局	こども支援課

No.	ご意見	回答 ※【課名】が記載されているものについては、意見交換後に市の考え方を示したものです。	局	担当課
8	公共施設にキッズスペースが少ないので、もっと増えれば子育てしやすくなると思う。	【こども政策課】 公共施設におけるキッズスペースなどの子育てに優しい設備の設置については、利用者の声なども参考にさせていただきながら、施設所管部署とも連携して検討していく。	こども局	こども政策課
9	チョイソコくまもとキッズのエリアを拡充していただけたらありがたい。	【移動円滑推進課】 チョイソコくまもとキッズ（AIデマンドタクシー）については、子育て世代の送迎負担軽減を目的に、令和4年11月に尾ノ上・月出・託麻南・山ノ内・長嶺校区を対象に実証実験を開始、令和5年3月には帯山・桜木・東町・健軍東・桜木東校区に対象エリアを拡大し、実証実験を継続しているところ。 利用件数も多く、ニーズの高い事業であると認識しており、今後の本格導入や運行エリアについては、実証実験の結果を踏まえ、引き続き、検討していく。	都市建設局	移動円滑推進課
10	和式トイレしかない子育て支援センターがあるので、洋式も設置していただけたら助かる。	【こども支援課】 公立の子育て支援センターのほとんどはセンター専用のトイレがなく、保育園と共有して使用している。その中でご意見のように和式のみセンターもあるため、洋式設置については今後施設所管課と協議していく。	こども局	こども支援課
11	これからTSMCの関係で、日本語が話せない妊婦や子育て世代が増えると思う。そのような方たちにとっても子育てしやすいまちにするために、例えば、中国語が話せる人がそのような方をサポートできる仕組みを検討してはどうか。	【国際課】 国際交流会館内に設置する熊本市外国人総合相談プラザでは、中国語など全23言語で、出産・子育て・こどもの教育等を含む生活全般に関する相談を受け付けている。なお、令和6年度からは、月に2回、台湾人の相談員を配置予定である。 今後も、台湾半導体関連企業の熊本進出に伴い、日本語を話すことができない台湾人居住者の方が増えることを見込まれることから、当プラザでの取組について、引き続き周知に努めていく。 また、日本語を話すことができない在住外国人の方向けに、地域日本語教室を各区で開催している。生活に必要な日本語を学ぶ機会を外国人の方に提供するとともに、妊婦・子育て世代の方でも参加しやすい体制づくりを行っている。	政策局	国際課
12	地域で安心して子育てするためにも、地域で見守りボランティアを行う方への金銭的に補助を行うなどの仕組みを作ってはどうか。	【健康福祉政策課・こども政策課】 現在、校区（地区）の社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会により、各地域において子育てサークルが自主的に開催されており、各団体への補助金交付等を通じて、各団体の活動を支援している。 今後、市民の皆様が地域の中で安心して子育てできるように、地域主体の子育て支援の強化に向けて、効果的な方法について研究してまいります。	健康福祉局 こども局	健康福祉政策課 こども政策課
13	公園のトイレについて和式便所が多い。こどもがどこそこ触ったりするため、衛生的に不安がある。また、こどもを抱きかかえてしづらいため、洋式便所を増やしていただけたらありがたい。	【みどり政策課・みどり公園課】 公園トイレの洋式化については、計画的な整備に努めていく。	都市建設局	みどり政策課 みどり公園課
14	重度心身障害児や医療ケアについて、保育園に入りたくても入れないという方をたくさん見てきたため、ひとりでも多く皆と同じように子育てできるように職員体制も含め整備してもらえたら助かる。	【保育幼稚園課】 医療的ケア児の受入のために看護師等を雇用する保育園へ補助を行う等、受入体制の強化を行っている。	こども局	保育幼稚園課
15	おむつ代やミルク代が高騰して児童手当では対応しきれないので、配布してほしい。配達までしてくれたらなおよい。	【こども支援課】 児童手当については、子育て世帯の経済的負担感の軽減に向け、令和6年12月支給分から、所得制限の撤廃や対象児童の拡充、支給月を年3回から6回に増やすなどの制度改正を行う。その他の経済的支援として、妊娠時に5万円、出産時に5万円の給付金の支給を行う「ようこそ赤ちゃんギフト」を実施している。	こども局	こども支援課

No.	ご意見	回答 ※【課名】が記載されているものについては、意見交換後に市の考え方を示したものです。	局	担当課
16	こども誰でも通園制度について今後制度化されるニュースで見た。熊本市も是非力を入れていただきたい。	【保育幼稚園課】 本市では、令和6年度（2024年度）中に「こども誰でも通園制度（仮称）」の本格施行に向けた試行的事業を開始する予定である。 現在準備中であり、開始時期や実施場所等については未定。詳細が決まり次第、市ホームページ等にて皆様に周知する。	こども局	保育幼稚園課
17	周りにも不妊治療をしている方が多い。もっと支援内容を充実させれば熊本は良い産院も多いので、こどもが増えると思う。	【こども支援課】 不妊治療については、令和4年度に不妊治療が保険適用となり、現在は一般不妊治療のみの助成を行っているところ。 新たな支援については、今後国の施策などを見ながら検討していく。	こども局	こども支援課
18	本当は子育てをしたいのに、経済的に職場復帰せざるを得ない家庭も多い。経済的な負担軽減を図り、子育てしやすい環境をつくってもらえたらありがたい。	【こども支援課】 こども医療助成について、令和5年12月診療分より、対象を中学生から高校生相当まで引き上げ、薬代を無料とする制度拡充を行った。また、その他の経済的支援として、妊娠時に5万円、出産時に5万円の給付金の支給を行う「ようこそ赤ちゃんギフト」を実施している。 子育て世帯の経済的負担感の軽減に向けた取組として、令和6年12月支給分からの児童手当について、対象児童の拡充や所得制限の撤廃、支給回数を年3回から6回に増やすなどの制度改革を行う。	こども局	こども支援課
19	保育園より学童保育の方がお迎えの時間が早いため、就学する前の方が子育てしやすかった。放課後、小学生が遊ぶ場所が限られているので、例えば公園に子どもを見守ってくれる地域の人がいいたら助かる。	【放課後児童育成課・こども政策課】 現行の制度において、要件を満たす保護者の方は、児童育成クラブを午後7時まで利用することができ、放課後、小学生が安心して過ごせる居場所づくりの実現に向けて、今後、調査研究を実施する予定である。	教育委員会 こども局	放課後児童育成課 こども政策課
20	子どもの急な発熱など、急に子どもを見なければならなくなったときに病児保育や一時保育などは満員であることが多い。そういった状況にも対応してくれる施設があれば子育てしやすくなると思う。ベビーシッターなどの制度もあるが、やはり料金がかかるので利用しにくい。	【こども政策課・保育幼稚園課・こども支援課】 病児・病後児保育については、市結婚・子育て応援サイトにて、空き状況を発信しており、本サイトの周知に努めていく。 一時預かり保育については、より多くの皆様にご利用いただくため、公立保育園においては令和6年度より、専任保育士を2名増員するとともに、専任保育士配置園を1か所拡充する予定としている。 また、上記以外ではファミリー・サポート・センターがあり、お子様の急な発熱時などに預かる制度もあるため活用いただきたい。	こども局	こども政策課 保育幼稚園課 こども支援課
21	熊本市は渋滞がすごく、バスの路線も複雑でわかりにくいので、わかりやすくなればよい。	【交通企画課】 慢性的な交通渋滞の要因の一つに、過度に自家用車に依存している交通体系があると考えており、この課題の解決には、道路整備を進めるだけでなく、交通手段を自家用車から公共交通へリバランスすることで都市交通の最適化、いわゆるベストミックスを構築していくことが必要と考えている。 具体的には、国県市が連携して都市圏の骨格幹線道路である「2環状11放射道路」の整備を進めており、本市においても熊本西環状道路や都市計画道路などの整備に取り組んでいる。さらに、「バス・電車無料の日」による公共交通の利用促進や「シェアサイクル」による公共交通で移動しやすい環境構築なども進めている。 渋滞緩和には、このような行政の取組だけでなく、公共交通を積極的にご利用頂くなど、市民の皆様にもご協力をお願いしたい。 バス路線については、これまで、行先・経由地を表した行先案内番号の変更やバスの運行情報がわかるバスきたくまさんの導入などを実施してきたが、今後もバス利用者の不便や不安を解消するために、バス事業者とともにわかりやすい情報提供に努めていく。	都市建設局	交通企画課
22	男性育休は、父親が体を休めるためのものではない。母親のケアや、家事をするための休みであることを教訓や心得のような形で示してもらえたらよいと思う。母親からは言いづらいときもある。	【こども政策課】 父親の育児参加の重要性や意義についての普及啓発も行いながら、男性の育児休業の取得促進に向けた取組を進めていく。	こども局	こども政策課

No.	ご意見	回答 ※【課名】が記載されているものについては、意見交換後に市の考え方を示したものです。	局	担当課
23	市外に無料でeスポーツやドローン体験、プログラミング体験が出来る場所がある。子どもからお年寄りまで様々な年代の方が集まる素敵な施設である。市内にも同じような施設ができないかなと思う。私は学校に行き渋っている子どもが社会に関わるようにできる活動をしているので、そういう子たちが社会と繋がることのできる場として市内にも作っていただければありがたい。	【こども政策課】 不登校児を含む全てのこどもが、安心して過ごすことができ、社会とも接点を持つことができるような居場所づくりの実現に向けて、今後、調査研究を実施する予定である。	こども局	こども政策課
24	任意接種分の予防接種についても助成があると助かる。	【感染症対策課】 予防接種については、予防接種法に基づいて市区町村が主体となって実施する「定期接種」と、希望者が自らの意思で接種する「任意接種」がある。 現在の本市における予防接種は、原則、予防接種法に基づき実施しており、この法に規定のある予防接種については、定期接種として無料または一部自己負担で実施している。 今後の任意接種に対する費用助成の在り方については、定期接種化や費用補助など、国の考え方や動向を注視し、研究していきたいと考えている。	健康福祉局	感染症対策課
25	保育園入園や小学校入学などにかく書類が多すぎる。減らすか、わかっている情報はあらかじめ印字された状態にしていれば助かる。	【保育幼稚園課・指導課】 保育所等の入所申込書等に関しては、申請者しか知りえない情報等以外の共通している項目等については、基本的に印字をおこないチェック欄等を設けることにより負担軽減を図っている。 また、熊本市教育委員会では、入学時に限らず学校と家庭間での配布物・提出物の見直しを進めており、令和5年度には保護者との連絡アプリケーションをモデル校に試行的に導入し、学校からの連絡通知、保護者からの欠席連絡をオンライン上で出来るように進めているところ。 今後も、アプリなどのデジタル技術も活用しながら提出方法や提出量の見直しを行い、保護者の負担軽減と利便性向上を図っていく。	こども局 教育委員会	保育幼稚園課 指導課
26	保育園や保育士さんへの助成がほしい。私の子どもを預けている園は、園長が親とともに子育てをし、また、職員の就労環境改善に注力している。しかしながら、ちょっとした用事で子どもを預けようとしたら嫌な顔をされる時もあり、精神的に減入っているようだった。保育士の処遇を改善することで結果的には子育て世帯にも巡り巡って還元されると思うし、保育士の確保にも繋がると思う。	【保育幼稚園課】 現在、保育士の給料をアップさせるために、処遇改善加算という形で保育園等に助成を行っているところ。保育士の処遇改善は、保育士の働く環境を改善し、子育て世帯にも還元される重要な取り組みだと考えており、今後も引き続き、処遇改善に努めていく。	こども局	保育幼稚園
27	児童育成クラブの指導員の資質向上と賃金上昇をお願いしたい。年長の指導員さんはたまに「男の子だからこうだね」といった発言をする時がある。小学校の先生が言っているのは聞いたことがないので、研修ができていたと思う。指導員さんの価値観を入れ替えるような研修をしたほうが良いと考える。	【放課後児童育成課】 児童育成クラブ支援員の給与に関しては、同等の職種や近隣の市町村と比較しても劣らないよう、処遇改善に努めていく。 また、支援員向けの研修等を年間に複数回開催し、支援員の資質向上に取り組んでいく。	教育委員会	放課後児童育成課
28	熊本市には地域と子育て世代のつながりの架け橋にもっとなってほしい。地域の子ども会が来季からなくなる。引っ越したときにすぐお世話になった。だれかの負担になるからなくなるという話だったので、対価や補償などがあればよいと思う。	【生涯学習課】 子ども会活動は地域の特性に応じた活動を行っている。本市としては、子ども会活動の手助けとなるよう、利用できるサービスをまとめた手引きを作成し、また、子ども会活動へ指導者を派遣するなどの支援を行っているところ。 今後も子ども会のニーズに寄り添った支援を進めていく。	文化市民局	生涯学習課
29	熊本市産後ケア事業について、現在、産後ケアを1歳まで受けれると思うが、2歳・3歳も別の大変さがあるので、年齢拡充も検討していただければありがたい。	【こども支援課】 産後ケア事業は、出産直後の母親の身体的な回復や心理的な安定等を主な目的とする事業であり、「出産後一年を経過しない女子及び乳児」を対象としているため、年齢拡充は困難だと考えている。 各区保健こども課や子育て支援センターでは、育児相談や発達相談（すこやか相談）など年齢に応じた相談ができる場所もあるので、ぜひご活用いただきたい。	こども局	こども支援課
30	親の勤務時間によっては児童育成クラブの対象にならないことがあるため、子育てする母親が働きやすい環境を整備してもらえると助かる。	【放課後児童育成課】 熊本市の公営の児童育成クラブでは要件を満たす全ての方を受け入れられるよう、施設整備や人員確保に努めている。 しかしながら、施設面や人員に限りがあるため、就労時間等、ある一定の要件を設け、ご家庭で見守りができない時間帯のみ、ご利用いただいている。 なるべく多くの方がご利用できるよう、ご理解とご協力をお願いしたい。	教育委員会	放課後児童育成課

No.	ご意見	回答 ※【課名】が記載されているものについては、意見交換後に市の考え方を示したものです。	局	担当課
31	待機児童はいないとのことだが、希望する保育園に入園できない方や医療ケア児やその狭間の子どもへの入園で悩んでいる方もいるので、そのような方をサポートする仕組みをつくっていただければ助かる。	<p>【保育幼稚園課】</p> <p>①待機児童について 平成27年度11月より、保育の入所等に関する相談窓口として各区役所保健子ども課に利用者支援員を配置し、保育所等への入所に関する全般的なサポートをおこなっている。</p> <p>②医療的ケア児について 医療的ケア児による安全・安心な保育所等の利用を推進するため、「保育所等における医療的ケアの実施に関するガイドライン」を策定した。 このガイドラインは、保育所等の施設、医療機関、熊本県医療的ケア児支援センター、市の関係機関等が連携し、医療的ケア児が保育所等の円滑な利用を図ることを目的として策定し、基本的な考え方、利用にあたっての留意事項等を具体的にまとめた内容となっており、医療的ケア児とその家族に対する医療的ケアその他の支援を行う。</p>	こども局	保育幼稚園課
32	産後ケアは充実しているとのことだが、子育ての悩みは子どもが小学生・中学生になってもつきない。子どもが小学生・中学生になっても安心して集える場所が地域に欲しいと思う。	<p>【こども政策課】</p> <p>全てのこども・若者が、安全で安心して過ごせる居場所づくりの実現に向けて、今後、調査研究を実施する予定である。</p>	こども局	こども政策課
33	文化の力はこどもたちの成長にとって重要だと思う。経済的に余裕がないとこどもたちが文化に触れる場面に参加しようと思わない。経済的支援も含め、文化に気軽に触れるための支援があればありがたい。	<p>【文化政策課】</p> <p>日常的に文化芸術に触れることは、こどもたちの豊かな感性や創造性を育み、心豊かな市民生活につながるものと考えている。 本市では、文化施設での文化芸術鑑賞や体験、学校へのアーティストや伝統芸能保存団体等の派遣を行うなど、様々な場面でこどもたちが文化芸術に触れる機会の提供を行っていく。</p>	文化市民局	文化政策課